

# 平成3年 茨城県の人口

## はじめに

この調査結果は、茨城県常住人口調査規則に基づき、市町村から毎月報告を受け、「茨城県の人口と世帯(推計)」(月報)等により公表した結果について、平成3年分をとりまとめたものです。

4年1月1日現在で2,885,056人となった。人口増加率は1.15%である。

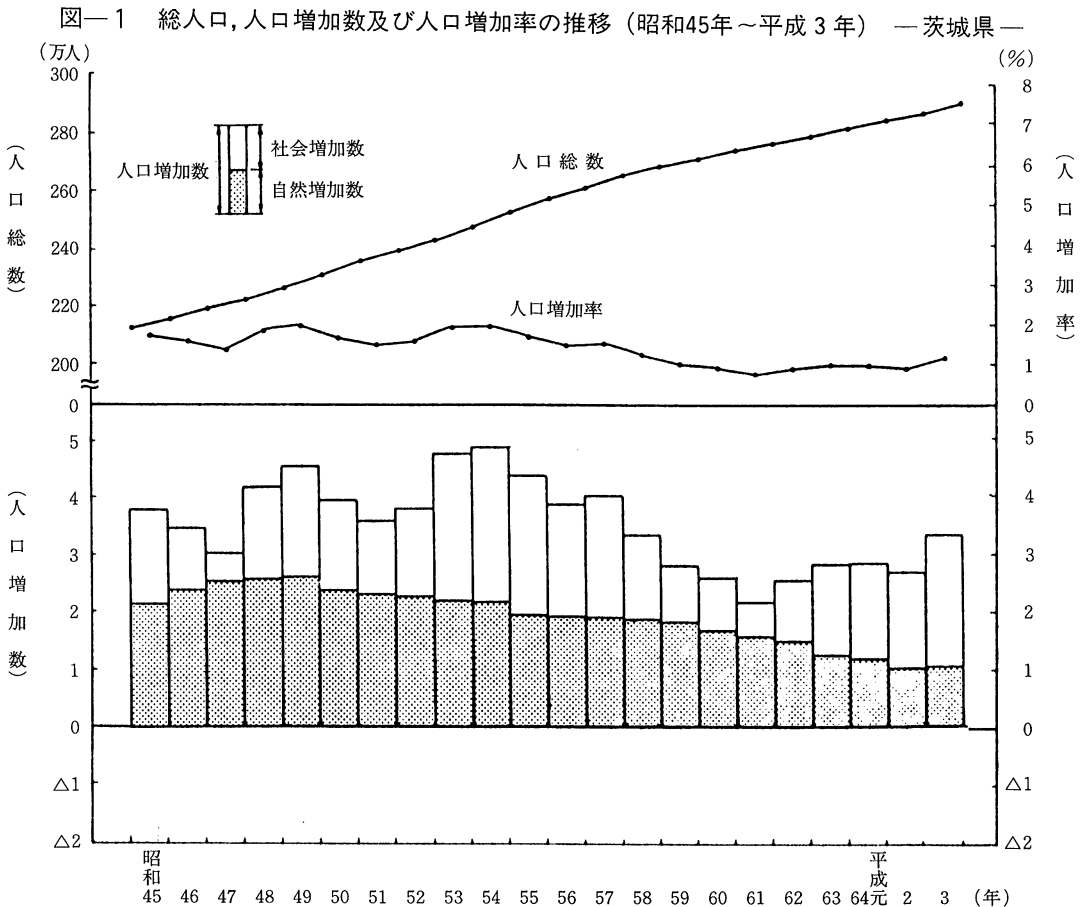
昭和63年以来3年ぶりに、人口増加の数、率ともに、前年を上回り増加傾向が上昇した。

男女別人口は、昨年中に男子が17,777人(増加率1.25%)、女子が15,083人(同1.05%)それぞれ増加し、平成4年1月1日現在で男子が1,440,294人、女子が1,444,762人となっている。この結果、性比(女子100人に対する男子の割合)は99.7となっている。

## 人口の動向 (図-1)

- 昨年中の人口増加数は32,860人、  
増加率は1.15%

本県の人口は、昨年中に32,860人増加し、平成



地域，市町村別人口（表－１・２，図－２）

- 昨年中の人口増加は18市47町村，  
逆に減少したのは2市21町村  
県内を5地域別に人口増加をみると，5地域全

てで増加を示し，県南地域が18,689人(増加率2.12%)で最も大きく，以下，県西地域6,037人(同1.06%)，県北地域3,147人(同0.48%)，県央地域2,676人(同0.55%)，鹿行地域2,311人(同0.88%)の増加となっている。

表－１ 市町村別人口増加率（平成3年）

(単位：%)

人口増減	県北地域 (0.48)	県央地域 (0.55)	鹿行地域 (0.88)	県南地域 (2.12)	県西地域 (1.06)	人口増減
3 年 増 加 市 町 村	2 年 増 加	水戸市 0.41	旭村 0.55	土浦市 1.38	結城市 0.87	2 年 を 下 回 る 市 町 村
		小川町 0.96	波崎町 0.83	石岡市 1.29	明野町 0.58	
		岩間町 0.68		牛久市 1.82	総和町 1.29	
	常陸太田市 0.81	常澄村 1.33	大野村 1.08	竜ヶ崎市 3.72	古河市 0.62	2 年 を 上 回 る 市 町 村
	勝田市 1.56	茨城町 0.29	大野村 1.68	取手市 1.73	下館市 0.75	
	北茨城市 0.32	美野里町 1.90	鹿島町 0.36	つくば市 2.48	下妻市 1.46	
	東海村 0.06	常北町 1.39	神栖町 2.91	江戸崎町 8.77	水海道市 0.74	
	那珂町 1.14	友部町 2.39	潮来町 1.62	美浦村 4.97	岩井市 1.13	
	瓜連町 2.95	岩瀬町 0.47		新利根村 3.14	関城町 0.37	
	大宮町 1.23			河内村 0.38	協和町 0.46	
	十王町 0.94			出島村 0.48	八千代町 1.05	
				八郷町 1.00	千代川村 1.09	
				谷和原村 5.11	石下町 1.58	
					五霞村 5.56	
					三和町 3.59	
					境町 0.78	
	2 年 減 少	日立市 0.22	玉造町 0.22			市 町 村
		高萩市 0.13				
		金砂郷村 0.16				
3 年 減 少 市 町 村	2 年 減 少	那珂湊市 $\Delta$ 0.31	笠間市 $\Delta$ 0.36	牛堀町 $\Delta$ 0.11	桜川村 $\Delta$ 0.22	
		山方町 $\Delta$ 0.75	御前山村 $\Delta$ 0.63		東村 $\Delta$ 0.01	
		水府村 $\Delta$ 1.18	大洗町 $\Delta$ 0.30			
		里美村 $\Delta$ 0.73	七会村 $\Delta$ 0.78			
		美和村 $\Delta$ 1.46		麻生町 $\Delta$ 0.46		る2 市 年 を 村 下 回
		大子町 $\Delta$ 1.17		北浦村 $\Delta$ 0.32		
	増2 加年	緒川村 $\Delta$ 1.21	内原町 $\Delta$ 0.07	銚田町 $\Delta$ 0.18	利根町 $\Delta$ 0.10	
			桂村 $\Delta$ 0.19			
					猿島町 $\Delta$ 0.16	
					真壁町 $\Delta$ 0.38	
					大和村 $\Delta$ 0.65	

## ■ 調査から

増加率を前年と比べると、県南地域、鹿行地域が上昇しているのに対し県北地域、県央地域は低下し、県西地域はほとんど変わらなかった。この結果、平成4年1月1日現在の地域別人口は、県北地域661,623人、県央地域487,131人、鹿行地域263,595人、県南地域899,769人、県西地域572,938人となっている。

次に、市町村別に人口増加をみると18市47町村で増加し、減少したのは2市21町村である。増加率の高い市町村は、土浦以南の常磐線沿線などに集中する傾向は変わらない。

増加率の高い市町村を順にみると、江戸崎町(8.77%)、守谷町(6.55%)、五霞村(5.56%)、谷

和原村(5.11%)、美浦村(4.97%)となっている。

増加数では、つくば市(3,572人)が最も多く、以下、守谷町(2,416人)、竜ヶ崎市(2,146人)、土浦市(1,763人)、勝田市(1,720人)の順となっている。

一方、減少率の高い市町村は、美和村( $\Delta$ 1.46%)、緒川村( $\Delta$ 1.21%)、水府村( $\Delta$ 1.18%)、大子町( $\Delta$ 1.17%)、七会村( $\Delta$ 0.78%)の順となっている。

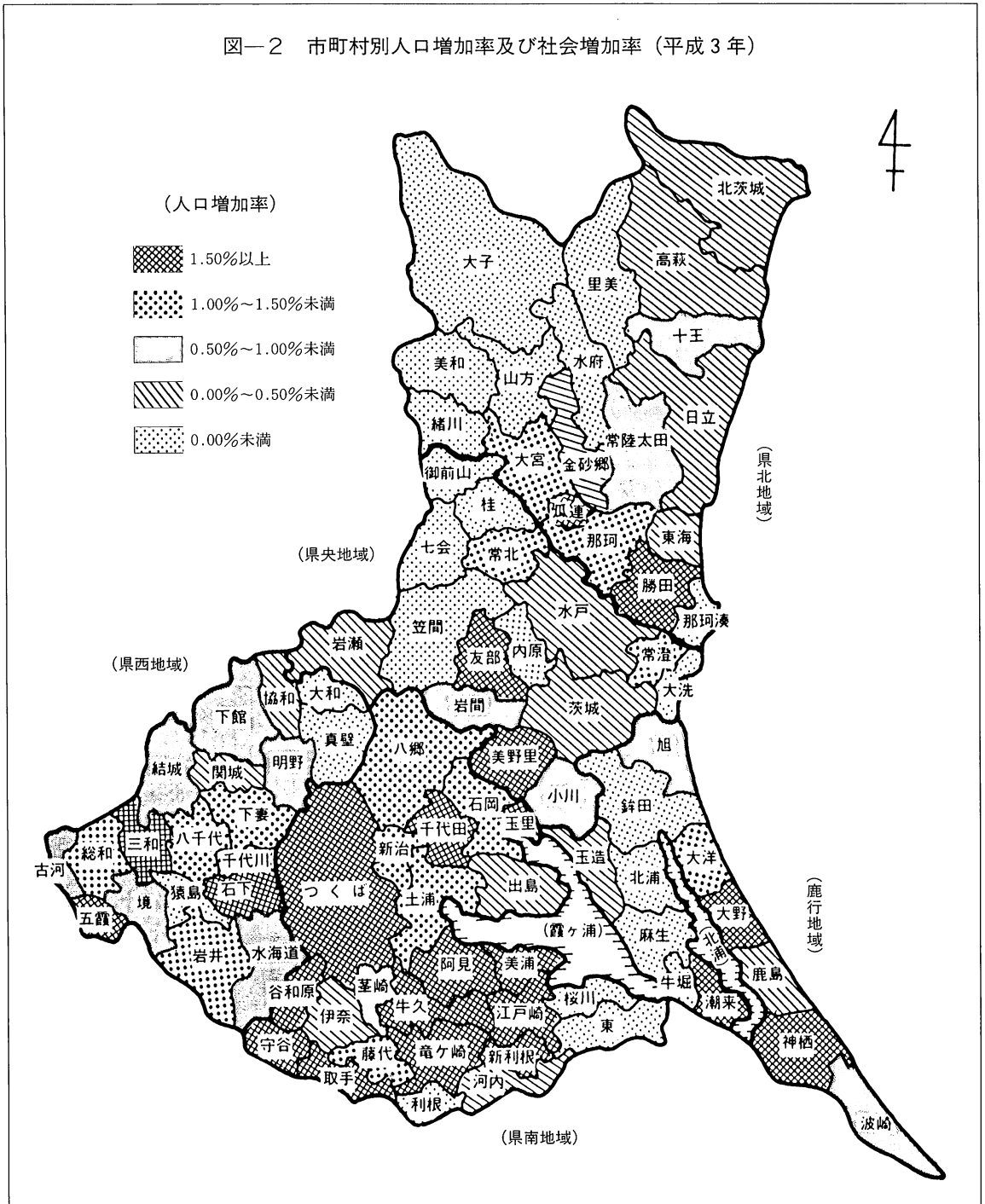
減少数では、大子町( $\Delta$ 317人)が最も多く、以下、笠間市( $\Delta$ 110人)、那珂湊市( $\Delta$ 100人)、水府村( $\Delta$ 83人)、麻生町( $\Delta$ 81人)の順となっている。

表一 市町村別人口増加率及び増加数順位 (平成3年)

人口増加率					人口増加数				
順位	上位10市町村		下位10市町村		順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増加率(%)	市町村名	人口増加率(%)		市町村名	人口増加数(人)	市町村名	人口増加数(人)
1	江戸崎町	8.77	美和村	$\Delta$ 1.46	1	つくば市	3 572	大子町	$\Delta$ 317
2	守谷町	6.55	緒川村	$\Delta$ 1.21	2	守谷町	2 416	笠間市	$\Delta$ 110
3	五霞村	5.56	水府村	$\Delta$ 1.18	3	竜ヶ崎市	2 146	那珂湊市	$\Delta$ 100
4	谷和原村	5.11	大子町	$\Delta$ 1.17	4	土浦市	1 763	水府村	$\Delta$ 83
5	美浦村	4.97	七会村	$\Delta$ 0.78	5	勝田市	1 720	麻生町	$\Delta$ 81
6	竜ヶ崎市	3.72	山方町	$\Delta$ 0.75	6	取手市	1 420	真壁町	$\Delta$ 80
7	三和町	3.59	里美村	$\Delta$ 0.73	7	三和町	1 308	美和村	$\Delta$ 77
8	新利根村	3.14	大和村	$\Delta$ 0.65	8	江戸崎町	1 299	山方町	$\Delta$ 66
9	瓜連町	2.95	御前山村	$\Delta$ 0.63	9	神栖町	1 178	大洗町	$\Delta$ 62
10	神栖町	2.91	麻生町	$\Delta$ 0.46	10	牛久市	1 110	緒川村	$\Delta$ 62

注) 県平均1.15%

図一 2 市町村別人口増加率及び社会増加率（平成 3 年）



自然動態 (表-3, 図-3)

●昨年中の出生児数は29,173人

死亡者数は19,071人

昨年中の自然動態は、出生児数29,173人、死亡者数19,071人で10,102人の増加となっており、増加率は0.35%である。

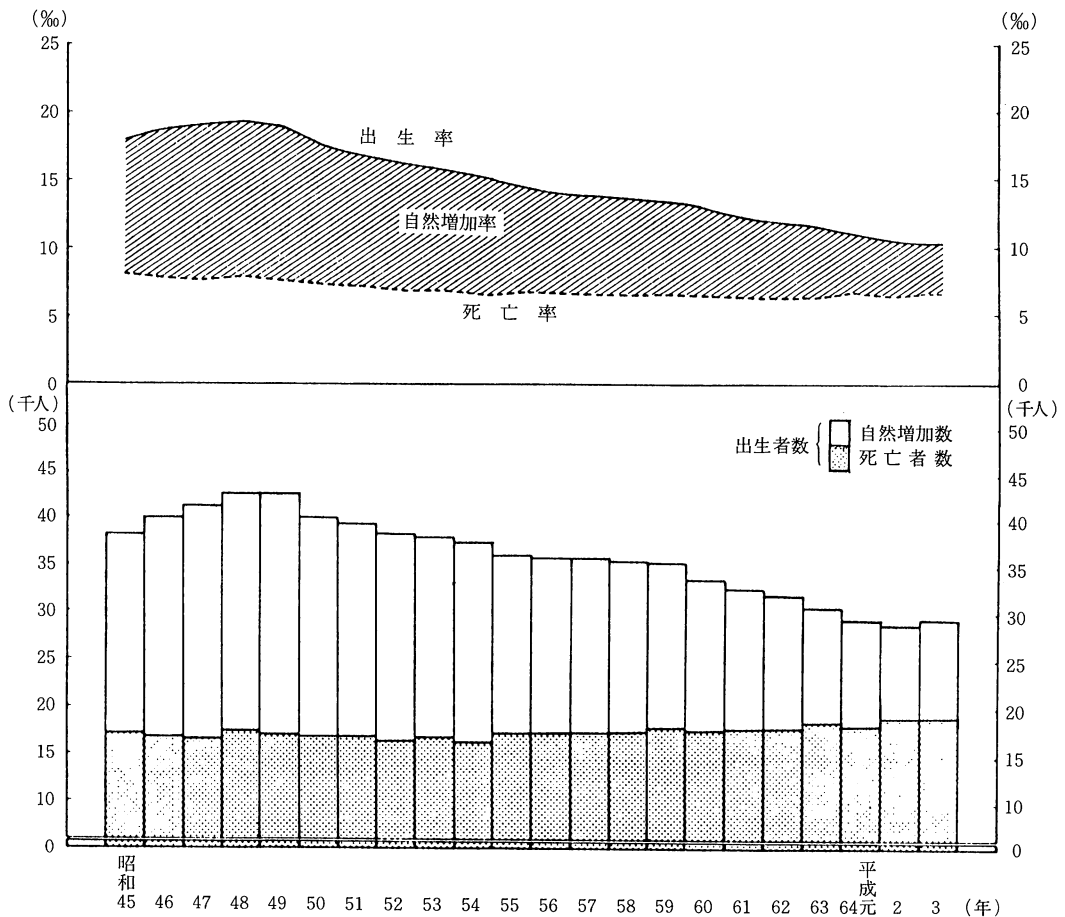
自然動態は、昭和40年代後半に増加率1%台の高い水準を示し、昭和50年代に入ってからは一貫して低下を示したが、今回は前年と同じ増加率と

なり、数で290人上回っている。

自然動態を地域別にみると、鹿行地域が0.42%で最も高く、以下、県北地域(0.37%)、県南地域(0.36%)、県央地域(0.34%)、県西地域(0.31%)の順となっている。

次に、市町村別にみると、勝田市が最も高く1.01%と唯一1.00%を上回っており、以下、神栖町(0.79%)、千代田村(0.76%)の順で、この3市町村が県平均(0.35%)の2倍以上の数値を示している。

図-3 自然動態の推移 (昭和45年~平成3年) — 茨城県 —



表一3 自然増加，出生及び死亡率の高い(低い)主な市町村

(自然増加率)

順位	上位 5 市町村		下位 5 市町村	
	市町村名	自然増加率 (%)	市町村名	自然増加率 (%)
1	勝田市	1.01	水府村	△0.41
2	神栖町	0.79	桜川村	△0.40
3	千代田村	0.76	緒川村	△0.39
4	鹿島町	0.65	御前山村	△0.39
5	つくば市	0.64	美和村	△0.38

注) 県平均0.35%

(出生率)

順位	上位 5 市町村		下位 5 市町村	
	市町村名	出生率 (%)	市町村名	出生率 (%)
1	勝田市	14.4	水府村	5.1
2	神栖町	13.7	利根町	5.3
3	千代田村	13.3	茎崎町	6.3
4	つくば市	12.5	出島村	6.5
5	潮来町	12.4	御前山村	6.7

注) 県平均10.2%

(死亡率)

順位	上位 5 市町村		下位 5 市町村	
	市町村名	死亡率 (%)	市町村名	死亡率 (%)
1	緒川村	12.7	勝田市	4.3
2	桜川村	11.7	取手市	4.5
3	桂村	11.2	守谷町	4.8
4	里美村	11.1	鹿島町	4.9
5	七会村	11.1	牛久市	4.9

注) 県平均6.7%

## 社会動態 (表一4・5・6, 図一4・5・6)

●昨年中の転入者は146,591人,

転出者は123,833人

昨年中の社会動態は，転入者 146,591人，転出者 123,833人で22,758人の増加となっており，増加率は0.80%である。

社会動態は昭和42年まで転出超過であったが，昭和43年から転入超過となり，その後，その超過数が拡大した。そして昭和54年(社会増加率1.08%)をピークに，以後，年々その率が低下傾向を示し，昭和62年から再び上昇傾向となり，今回昭和57年以来9年ぶりに2万人を超えた。

社会動態を地域別にみると，県南地域が15,510

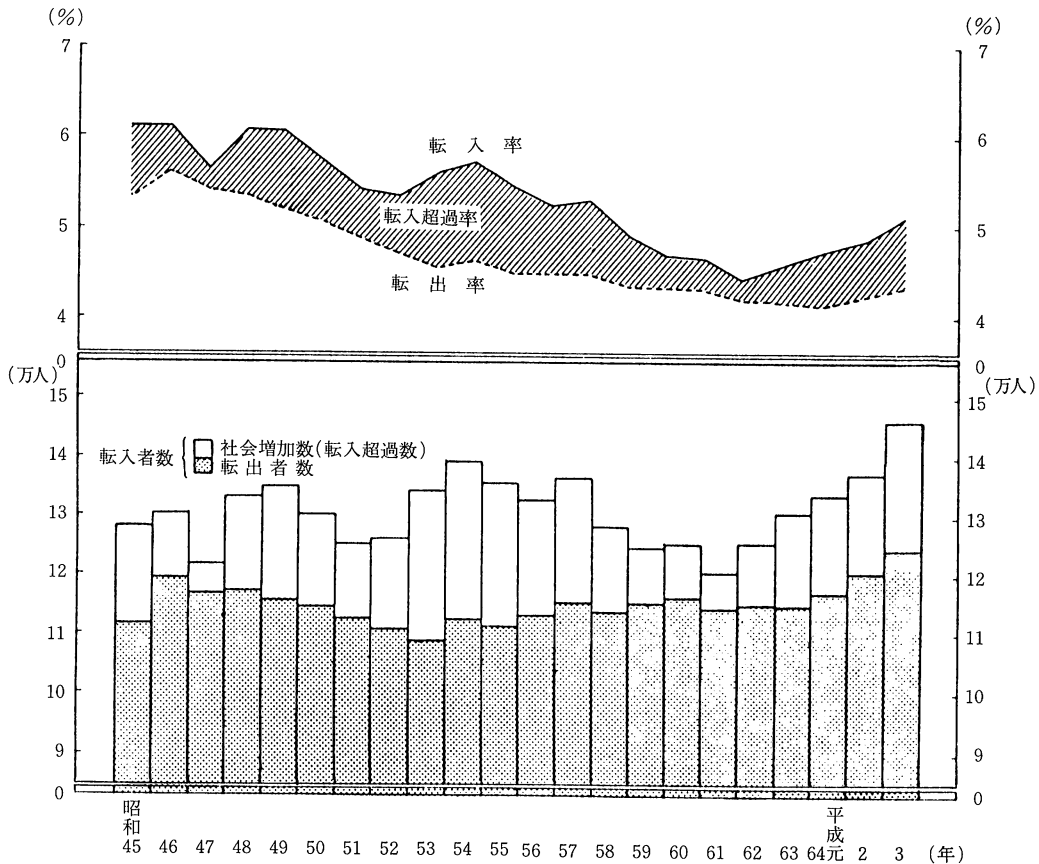
人と極めて高い転入超過で，以下，県西地域4,256人，鹿行地域1,221人，県中央地域1,052人，県北地域719人の転入超過となっている。

次に，市町村別にみると，転入超過が15市47町村，転出超過が5市20町村という状況である。

転入超過率(社会増加率)の高い市町村は，江戸崎町(8.72%)が最も高く，以下，守谷町(5.99%)，五霞村(5.18%)，谷和原村(4.87%)，美浦村(4.79%)の順となっている。増加数では，つくば市の2,644人が最も多くなっている。

逆に，転出超過率(社会減少率)の高い市町村は，美和村(△1.08%)が最も高く，以下，緒川村(△0.82%)，大子町(△0.80%)，水府村(△0.77%)，大和村(△0.74%)の順となっている。減少数では，日立市の△678人が最も多くなっている。

図一 4 社会動態の推移 (昭和45年～平成3年) — 茨城県 —



表一 4 社会増加率の高い(低い)主な市町村 (社会増加率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増加率 (%)	市町村名	社会増加率 (%)
1	江戸崎町	8.72	美和村	△1.08
2	守谷町	5.99	緒川村	△0.82
3	五霞村	5.18	大子町	△0.80
4	谷和原村	4.87	水府村	△0.77
5	美浦村	4.79	大和村	△0.74

注) 県平均0.80%

表一 5 転入・転出者の内訳(平成2年、3年) — 茨城県 —

区 分		計	県 外	県 内	その他
転入者数 (人)	平成2年	136 701	80 524	54 542	1 635
	平成3年	146 591	86 902	57 975	1 714
	増 加	9 890	6 378	3 433	79
転出者数 (人)	平成2年	120 076	64 374	54 872	830
	平成3年	123 833	64 888	58 270	675
	増 加	3 757	514	3 398	△ 155
社会増加数 (人)	平成2年	16 625	16 150	△ 330	805
	平成3年	22 758	22 014	△ 295	1 039
	増 加	6 133	5 864	35	234

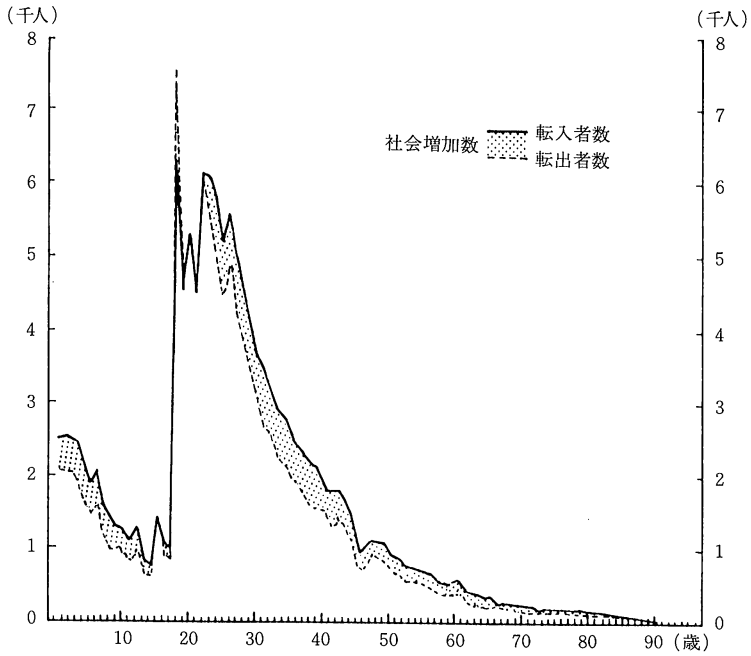
表一六 県外転入及び転出者数（平成2年，3年） — 県・地域 —

地 域		茨 城 県			県北地域			県央地域			鹿行地域			県南地域			県西地域		
		平成 3年	平成 2年	増加	平成 3年	平成 2年	増加	平成 3年	平成 2年	増加	平成 3年	平成 2年	増加	平成 3年	平成 2年	増加	平成 3年	平成 2年	増加
転 入 者 数	総 数	86 902	80 524	6 378	11 466	10 752	714	12 164	11 423	741	7 166	6 755	411	39 917	37 434	2 483	16 189	14 160	2 029
	北海道・東北	8 744	8 401	343	2 211	1 971	240	1 667	1 556	111	530	488	42	3 067	3 060	7	1 269	1 326	△ 57
	関 東	53 791	51 561	2 230	6 095	6 055	40	7 170	6 951	219	4 489	4 427	62	25 301	24 390	911	10 736	9 738	998
	中 部	5 435	5 086	349	802	800	2	1 143	1 087	56	376	343	33	2 405	2 241	164	709	615	94
	近 畿	4 026	3 641	385	439	358	81	443	499	△ 56	511	423	88	2 243	1 981	262	390	380	10
	中国・四国	1 932	1 995	△ 63	367	327	40	273	287	△ 14	163	200	△ 37	971	993	△ 22	158	188	△ 30
	九 州	2 940	2 679	261	458	465	△ 7	437	369	68	297	229	68	1 429	1 280	149	319	336	△ 17
国 外	10 034	7 161	2 873	1 094	776	318	1 031	674	357	800	645	155	4 501	3 489	1 012	2 608	1 577	1 031	
転 出 者 数	総 数	64 888	64 374	514	11 028	11 679	△651	10 544	10 728	△184	5 853	5 656	197	25 652	25 295	357	11 811	11 016	795
	北海道・東北	6 996	6 720	276	1 789	1 757	32	1 448	1 318	130	384	370	14	2 429	2 339	90	946	936	10
	関 東	41 789	41 255	534	6 816	7 219	△403	6 919	7 038	△119	3 974	3 754	220	15 595	15 174	421	8 485	8 070	415
	中 部	4 885	4 844	41	827	893	△ 66	930	957	△ 27	310	344	△ 34	2 070	2 044	26	748	606	142
	近 畿	3 209	3 071	138	385	427	△ 42	447	449	△ 2	479	462	17	1 557	1 439	118	341	294	47
	中国・四国	1 530	1 662	△132	276	415	△139	194	266	△ 72	168	162	6	734	694	40	158	125	33
	九 州	2 189	2 250	△ 61	345	395	△ 50	294	291	3	216	264	△ 48	1 096	1 059	37	238	241	△ 3
国 外	4 290	4 572	△282	590	573	17	312	409	△ 97	322	300	22	2 171	2 546	△375	895	744	151	
社 会 増 加 数 (県外間)	総 数	22 014	16 150	—	438	△927	—	1 620	695	—	1 313	1 099	—	14 265	12 139	—	4 378	3 144	—
	北海道・東北	1 748	1 681	—	422	214	—	219	238	—	146	118	—	638	721	—	323	390	—
	関 東	12 002	10 306	—	△721	△1 164	—	151	△ 87	—	515	673	—	9 706	9 216	—	2 251	1 668	—
	中 部	550	242	—	△ 25	△ 93	—	213	130	—	66	△ 1	—	335	197	—	△ 39	9	—
	近 畿	817	570	—	54	△ 69	—	△ 4	50	—	32	△ 39	—	686	542	—	49	86	—
	中国・四国	402	333	—	91	△ 88	—	79	21	—	△ 5	38	—	237	299	—	—	63	—
	九 州	751	429	—	113	70	—	143	78	—	81	△ 35	—	333	221	—	81	95	—
国 外	5 744	2 589	—	504	203	—	719	265	—	478	345	—	2 330	943	—	1 713	833	—	

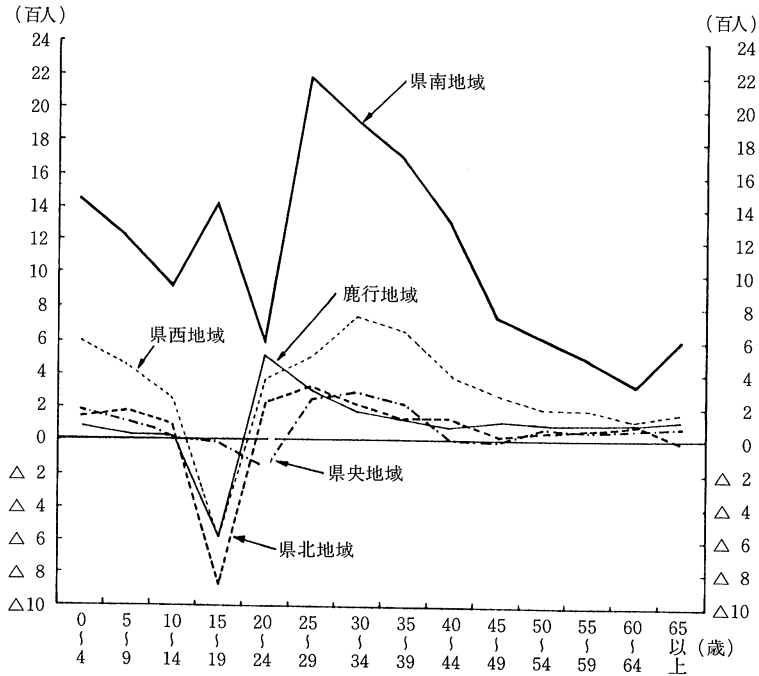
注) その他の移動者(従前の住所地なし，転出先不明等)は含まない。



図—5 年齢(各歳)別転入及び転出者数(平成3年) —茨城県—



図—6 地域及び年齢(5歳階級)別社会増加数(平成3年)



## 世帯数(表一七)

- 昨年中に23,193世帯増加し、  
1世帯当たり人員も3.36人となる  
本県の世帯数は、昨年中に23,193世帯増加し、  
平成4年1月1日現在で860,396世帯となった。

増加率は2.77%である。

これを人口増加率(1.15%)と比べると1.62ポイント上回っている。

このため1世帯当たりの平均人員が1年間で0.05人減少(10月1日現在比較)を示し、平成3年10月1日現在で3.36人となっている。

表一七 世帯数増加率及び1世帯当たり人員の推移(昭和52年～平成3年) — 茨城県 —

年	人口増加率(%)	世帯数増加率(%)	対前年比(ポイント)	世帯数増加率		1世帯当たり人員(人)(10月1日)	対前年比(人)
				人口増加率	対前年比(ポイント)		
昭和52	1.58	2.11	0.11	1.34	0.01	3.93	△0.02
53	1.94	2.80	0.69	1.44	0.10	3.90	△0.03
54	1.96	2.94	0.14	1.50	0.06	3.86	△0.04
55	1.72	2.29	△0.65	1.33	△0.17	3.69	△0.17
56	1.49	1.95	△0.34	1.31	△0.02	3.67	△0.02
57	1.53	2.13	0.18	1.39	0.08	3.65	△0.02
58	1.24	1.87	△0.26	1.51	0.12	3.63	△0.02
59	1.03	1.50	△0.37	1.46	0.05	3.61	△0.02
60	0.94	1.56	0.06	1.66	0.20	3.59	△0.02
61	0.78	1.53	△0.03	1.96	0.30	3.57	△0.02
62	0.91	1.78	0.25	1.96	△0.00	3.54	△0.03
63	1.00	1.90	0.12	1.90	△0.06	3.51	△0.03
64・平成元	1.00	2.19	0.29	2.19	0.29	3.47	△0.04
平成2	0.93	2.25	0.06	2.42	0.23	3.41	△0.06
3	1.15	2.77	0.52	2.41	△0.01	3.36	△0.05

注) 1世帯当たり人員 =  $\frac{\text{総人口}}{\text{総世帯数}}$

— 茨城県常住人口調査結果から —  
(統計課・人口労働グループ)